

はむら 市議会だより

No. 86

(通巻No.195)

平成22年11月15日発行

羽村市議会

〒205-8601

東京都羽村市

緑ヶ丘5丁目2番地1

☎ 042(555)1111

ホームページアドレス

http://www.city.hamura.tokyo.jp/



どんどん入れ！(第63回体育祭より)

12月議会の予定

- 12月 7日(火) 本会議(初日)
- 12月 8日(水) 本会議
- 12月 9日(木) 会議
- 12月10日(金) 本会議
- 12月15日(水) 常任委員会(予定)
- 12月16日(木) 常任委員会(予定)
- 12月22日(水) 本会議(最終日)

あなたも議会を
傍聴してみませんか？

次回の定例会は12月です

請願・陳情の提出は

11月25日(木)までに

議会事務局へお願いします

はむらで見られる 野鳥



メジロ(目白)

文字通り目の周囲が白くウグイス色をしたスズメより小さい鳥。繁殖期はチュルチュルとにぎやかに、秋・冬はチュイー・チュイーと甘い声で鳴いています。冬、自然界に餌が少なくなると、庭先の花の蜜を吸いに訪れ、枝先や餌台のミカン、リンゴなどをつつきに来ます。急に動くなどおどかさなければ、かなり近くまで来て、愛らしい姿を楽しませてくれます。

第4回(9月)定例会

一般質問 市政を問う(16人の議員が一般質問)	2ページ
議会の活動報告	13ページ
審議した主な議案	14ページ
議決結果一覧	15ページ
平成21年度決算審査	17ページ

編集後記

9月議会は、厳しい財政状況の中、市民税の減収と交付団体に移行したことによる22年度補正予算等が審議され、21年度決算審査では、決算書、事務報告書をもとに科目事業ごとの細部にわたり活発な質疑が行われました。

経済不況の先行きが不透明な中、明るい希望もてる話題が少ない昨今ですが、秋の体育祭、ベタンク大会、親子工作教室、文化祭、ふれあい福祉まつり、産業祭は、子どもから高齢者まで、多くの市民がつどい楽しみふれあう、まさに市民一体となった活力の表れではないでしょうか。

秋の旬といえばさんま、さんまは目黒にかぎる。ならば住むには羽村にかぎる。

(小宮記)

《編集委員》

- 露木 諒一 川崎 明夫
- 鈴木 拓也 大塚あかね
- 橋本 弘山 山崎 陽一
- 小宮 國暉

市政を問う

平成22年第4回羽村市議会(定例会)を、9月7日から10月4日までの28日間の会期で開催しました。開会初日には、市長から、市政についての所信表明がありました。9月7日、8日、9日には、16人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。
 ※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

議員名	頁	議員名	頁
小宮 國暉	2	瀧島 愛夫	8
石居 尚郎	2	門間 淑子	8
大塚あかね	4	中根 康雄	9
濱中 俊男	4	鈴木 拓也	10
市川 英子	5	馳平 耕三	10
西川美佐保	6	水野 義裕	11
橋本 弘山	6	山崎 陽一	12
川崎 明夫	7	中原 雅之	12

こみや くにあき
小宮 國暉 議員
 (新しい風)



- ◇明日の羽村を築いていくためには
- ◇ストックマネージメントについて
- ◇国体に向けた周辺整備等の施策は

「明日の羽村」をどのように築いていくのか

近年の厳しい財政状況の中、「明日のはむら」をどのように築いていくかということとは極めて重要である。行

政のあり方が問われている現在、今後のまちづくりの方向と共に、財政問題への具体的取り組み、行財政改革のプラン策定とその進捗状況について伺う。

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
 (公明党)



- ◇特別支援教育・発達障害支援充実
- ◇浸水する道路対策について
- ◇奥多摩街道の安全対策について

特別支援教育・発達障害支援の強化充実を

質問 東京都の「すべての小学校・中学校に『特別支援教室』を設置する」との考えに対し、羽村市の認識と今後の具

体的施策は。
 教育長 東京都が示した特別支援教育に関する取り組みと課題については、市の課題と重なる部分がある。市としては、「特別支援教室モデル事業」への



▲羽村市役所

質問 第5次長期総合計画の策定に向けて、市のこれまでの取り組み経緯は。
 市長 公募を含む市民23人で構成する「はむら市民懇談会」を開催、市政に関する自由な意見を伺っている他、無作為に抽出した千人の方に対し市政世論調査を実施、市の施策に対する満足度をはじめ、将来の羽村市に望む施策等についてご意見を伺った。また、6月には「長期総合計画審議会」を設置し、現在まで3回の会議を開催していただいている。

質問 厳しい社会経済状況を踏まえ、財政面でどのような課題があると考えているか。また課題を解決するためにどのような対策を講じていく考えか。
 市長 市の税収のうち法人分の税収確保が財政運営を大きく左右することから、様々な支援策を講じ、税収増加につながる対策を進めていくことが不可欠と認識している。現在「第2次緊急経済財政対策」の策定を進めており、安定的な財政運営の確立を図る。

質問 行財政改革推進プランの策定とその進捗状況・今後のスケジュールは。
 市長 市では平成6年度からこれまで4次にわたる行財政改革を推進してきたが、今後も行財政改革に取り組むため、平成24年度を初年度とする行財政改革基本計画(仮称)を策定していく。策定にあたっては、市民等で組織する行政改革審議会を設置し、審議会からの答申内容を尊重した市計画案を作成し、意見公募手続きを実施した後、平成23年12月までに策定する予定である。



▲奥多摩街道

参加を検討していきたい。

質問 特別支援教育の将来展望と羽村市の体制整備の方針について。
 教育長 通級指導学級、知的障害の固定学級の増設を含め、市内全体を見通した特別支援学級の設置について、現在検討を進めている。今後も教育環境の整備と教員の資質向上を進めていく。

質問 発達段階に応じて個別支援ができる横の連携を重視した支援室の設置を。
 市長 今後、保健・福祉・教育などの関係部署により総合的に検討を進め、

方向を定めていきたい。
 質問 マルチメディア教材の普及促進について。
 教育長 今後の使用については、障害の程度に応じて検討していきたい。

質問 台風やゲリラ豪雨の際に浸水する道路が何か所あり、それらの対策は。
 市長 市が想定している浸水箇所は17か所。それとは異なる箇所からも浸水がある。対策として、集水樹の増設やコンクリート蓋からグレーチング蓋に改善する。また、雨水管が整備されていない箇所は、雨水浸透側溝等を設置する。

奥多摩街道の安全対策について
 質問 東京都西多摩建設事務所との協議会における意見交換と要望は。
 市長 全線にわたる拡幅計画の早期策定と事業化を要望した。
 ※マルチメディア教材：障害のある児童生徒が使用する教科用特定図書のうち、音声読み上げのコンピュータソフトを利用した教材として開発されたもの。